

(様式 1)

令和 3 年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県五福公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市五福

3 施設設置年度
昭和33 年度

4 設置目的
昭和33年に初めて富山県で開催された国民体育大会にあわせて整備された運動公園

5 施設概要
敷地面積：15.6ha
主な施設
・ 県営富山野球場：19,700㎡ 収容人数20,000人
・ 陸上競技場：26,600㎡ 400mトラック 8 コース
・ 野球広場：20,800㎡ 2 面
・ スポーツ広場：12,100㎡ クレイ舗装

6 指定管理者
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

H29	H30	R1	R2	R3
161,800	177,200	166,004	73,176	95,233

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H29	H30	R1	R2	R3
4,152	5,235	5,251	3,519	3,756

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H29	H30	R1	R2	R3
4,602	5,179	5,227	5,275	5,275

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は令和2年度比130.1% (22,057人増)、有料公園施設の利用料金収入は令和2年度比106.7% (237千円増)であった。
・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、8～9月には既に予約された大会を除き有料公園施設の利用が中止となったが、令和2年度に比べてやや落ち着いた時期が多くなったことから、令和2年度を上回った。

(2) サービス向上に向けた取組み

・サクラ・イチョウ並木のライトアップや富山大学生によるアカペラライブ・ジャズライブ、五福公園まちなかまつり等を実施し、賑わいの場を創出した。
・令和2年度から富山県道路愛護ボランティア制度(富山県わがまち・わがみち事業)に登録し、公園正面の歩道清掃や大型プランター9基及び中型プランター25基の植栽管理を行った。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

・利用者ニーズに合わせ、供用日、供用時間を弾力的に運用した(朝間野球時・夏休み期間等の無休園、4～10月の開園時間延長など)。
・幅広い年齢層の利用促進のため、ハンギングバスケット体験会及び楽しい寄せ植え教室を令和3年度から開催し、参加者から好評を得た。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	①はじめてのハンギングバスケット体験会(4月25日) ②五福公園まちなかまつり(6月26日、27日) ③楽しい寄せ植え教室(11月7日) ④公園認知度調査(12月19日フェアレ富山)
回答者数	①28名、②73名、③25名、④326名
結果	①～③富山市からの参加が多く、イベントの継続開催を望む意見が寄せられた。 ④行ったことのある公園では164人、一番よく行く公園では6人の回答があった。
結果を踏まえた改善事項	令和4年度も引き続き参加者に楽しんでいただけるよう努める。

② その他利用者の声を反映させる取組み

利用団体等と五福公園運営会議を実施した(新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催)。

③ 主な苦情と対応

駐車場に無断駐車している学生が多い。⇒大学へ引き続きの学生指導を依頼。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・近隣住民と共同で排水路の清掃を実施した。
・社会人硬式野球チーム「ロキテクノ富山」と協働して県営富山野球場のグラウンド整備に取り組んだ。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・指定管理者独自の供用時間の延長、供用日の拡大や桜・イチョウ並木のライトアップなど、利用促進及びサービス向上に取り組む姿勢が見られる。
・令和4年度に日本陸連第2種公認検定を控えており、そのための工事により、一時的に陸上競技場の利用がなく、利用料収入の減が予想される。
・施設や設備、備品の老朽化が進んでおり、コストバランスも考慮しつつ、利用者の安全を最優先に優先順位をつけて計画的に修繕・更新を行っていく必要がある。
・今後とも、アンケート調査等による利用者ニーズの把握を行うとともに、合宿の誘致や様々な行事での利用を含め、積極的なPRや情報発信の方法の工夫などに努めてもらいたい。